

令和2年度 山形県公立大学法人
第2回経営審議会
第2回教育研究審議会（米沢栄養大学）
第2回教育研究審議会（米沢女子短期大学）
議事録

1 日時 令和2年7月31日（金） 14：58～16：30

2 場所 B号館 2階会議室

3 出席者

<経営審議会>

（出席） 学内委員：阿部理事長、佐藤理事、大和田理事、金光理事、菌部理事

学外委員：加藤理事、宮原委員、黒田委員

（欠席） 学内委員：松井理事

※委員9名中8名出席、定款第16条の規定により会議成立

<教育研究審議会（米沢栄養大学）>

（出席） 学内委員：阿部学長、大和田理事、金光理事、成田委員、高橋委員、大益委員

学外委員：吉池委員、渋谷委員

※委員8名中8名出席、定款第20条の規定により会議成立

<教育研究審議会（米沢女子短期大学）>

（出席） 学内委員：阿部学長、菌部理事、高橋委員、鈴木委員

学外委員：中島委員、結城委員

（欠席） 学内委員：松井理事

※委員7名中6名出席、定款第20条の規定により会議成立

<監事>

（出席） 山上監事

（欠席） 五十嵐監事

<事務局職員>

（出席） 菊川次長、浜田課長、高橋課長、鈴木専門員、小林主査、境主査、金谷主事

4 議事録署名人の指名

阿部理事長から、加藤理事（経営審議会）、吉池委員（教育研究審議会[栄養大]）、鈴木委員（教育研究委員会[米短大]）の3名が議事録署名人に指名された。

5 報告

(1) 新型コロナウイルス感染症に関する対応について

事務局から報告資料1により報告がなされた。

吉池委員から、コロナ禍における学生の就職活動の状況と大学の対応について質問がなされた。これに対し事務局から、授業と同様に遠隔による就職支援を6月から行ったこと、7月以降は対面による支援となったが、学内での合同企業説明会を、参加する企業や学生の数を縮小したうえで細目に開催している旨の説明がなされた。

吉池委員から、就職活動に伴い学生が県外、首都圏に出ることへの対応について質問がなされ

た。これに対し事務局から、就職活動で県外に出ることを止めるのは難しく、相談を受けた場合は、酒の提供を伴う飲食店の利用や友人との面会は避け、就職面接の終了後は早目に帰るよう指導している旨の説明がなされた。

(2) 山形県立米沢栄養大学教員の公募について

事務局から報告資料2により報告がなされた。

(3) 山形県立米沢女子短期大学教員の公募について

事務局から報告資料3により報告がなされた。

6 協 議

(1) 山形県公立大学法人業務方法書の一部改正について

事務局から協議資料1により説明がなされ、案のとおり承認された。

(2) 山形県立米沢栄養大学キャリア支援センター規程の一部改正について及び山形県立米沢女子短期大学キャリア支援センター規程の一部改正について

事務局から協議資料2により説明がなされ、案のとおり承認された。

(3) 山形県立米沢女子短期大学教員の任用（採用）について

事務局から協議資料3により説明がなされ、案のとおり承認された。

(4) 山形県公立大学法人第3期中期目標（試案）について

事務局から協議資料4により説明がなされ、中期目標の策定に向け、県とやりとりを重ねながら進めていくこととされた。

宮原委員から、今後の取組みとして、大学の魅力を創造し、実力を醸成していくことが重要。魅力とは先端性を持って社会の一翼を担うことで創造され、社会との協働の実践活動の中で実力が育まれていくのではないか。地域の憧れの存在になるため、企業と連携し、その活動成果を公開講座等で情報発信することが重要。今までにないようなドラスティックに戦略的に実践する必要があるとの発言があった。

黒田委員から、アフターコロナを見据えて働き方が変わってくる。大企業では既にリモートが進んでおり、東京で働いていた方が地方で暮らすことを希望するようになっている。これは、こちらの学生にもチャンスが増えるということ。ここに住んでいても、専門的な最先端のことを身に付けることにより、就職先が全国、全世界に広がることを認識してほしい。実力のある学生が県に定着すれば、企業も成長できるとの発言があった。

吉池委員から、次の中期目標について県から基本的に同じとし、二つの数値目標を示されている訳だが、それで良いのだろうか。例えば、県内就職を進めるには、県内の管理栄養士の受皿の確保が必要であり、そのために大学院をどう活用するかなどの戦略が見える必要があるが、何も触れられていないのではないかと発言があった。これに対し、阿部理事長から、県に対しては、管理栄養士の就職の場の拡大や、県内だけでなく県外から来て山形に就職しようとしている学生への支援について要望したいと考えているとの発言があった。

中島委員から、山形大学工学部でも県内出身者を増やすよう常々言われているが、人数としては120名ほどだが、割合としては20%となっている。平成20年度から県内出身者を対象にしたAO入試を実施しており、入試の公正性も担保したうえで、意欲のある学生を受け入れ定着させるという社会に対する責任も果たしたい。こうした学生に対しては、入学後も志望動機をあらためて問いかけるほか、毎年、県内企業ツアーやインターンシップ等でアフターフォローを行っている。彼らが核となって他の学生に波及したり、県外から来た学生にも山形はこんなに大事にしてくれる良い所だなと思ってもらいたい。それでも地域に残るかは難しいが、4年もすると入ってきた時のことを忘れてしまうので、そうならないように産業界や出身高校の校長との懇談等を通

して、AO入試の趣旨を再度認識させている。教員だけでなく、企業や地域の方々も含めた、切れ目ないアフターフォローは、学生が県内定着するうえで効果があるのではないかとの発言があった。

大和田理事から、栄養大では県内高校を対象とした校長推薦は既に実施している。その枠も1校1名から2名に増やしているとの発言があった。

黒田委員から、地域で活動する学生は地元就職の可能性が高い。企業だけでなく地域との結びつきも大切にしてほしいとの発言があった。

結城委員から、戦略的な経営には、大学のガバナンス、中でも理事長・学長のリーダーシップが非常に大事。国立大学はこの10年、15年と改革を進め強化してきたが、公立大学のガバナンス体制について、次の目標では、より強化して進めてほしいとの発言があった。これに対し、阿部理事長から、国立大学と異なり、県立大学だとどこまで経営と言ってよいかわからないが、戦略的という言葉も入ったので、引き続き重要課題であるとの発言があった。

菌部理事から、県内出身者に県内に残ってもらうこと以上に、県外出身者で山形に就職したいという学生を定着させるのが難しいと実感している。地元企業の経営者と話をすると、福利厚生にお金をかけたくない、できれば県内の学生が良いという話をされる。大学で企業の経営のことをどうにもすることはできないため、県に対して奨学金返還支援事業の対象の県外出身者への拡大を求めたい。県から新たな取組みの予定はないと示されたが、短大では次の期間中に改組まで見込めないとしても、絶えず教育研究機能の在り方については考えていく必要があるとの発言があった。

加藤理事から、地域連携を重視したい。米沢市はまち・ひと・しごと創成総合戦略を策定し取り組んでいるが、3つの大学があるにも関わらず市との関係が薄いように感じる。地域で必要とされていることにどれだけ関わっていけるかが重要であるとの発言があった。

渋谷委員から、県から同じ課題を突き付けられている。県外出身者も県内に定着し始めているので力を入れていきたい。延長線としたいとの県の考えについては、状況も変化しており、あらためて考える必要があると認識しており、連携して課題認識を県にぶつけていきたいとの発言があった。

黒田委員から、就職先より幸せな暮らしに関心を示す学生が増えており、山形に暮らすことが幸せだと我々が示すことが大事ではないかとの発言があった。

吉池委員から、人々の健康を守るなど、地域に必要な人材を輩出することが大学設置の本来の目的であれば、そのような人材は新卒者でなくてもよい。地域の管理栄養士に現任教育を系統的にしっかり行えば、管理栄養士のレベルが上がり、学生も地元就職したくなる。東京に学生が出たがるのは、施設のレベルが高く勉強になるということがあるので、県内の施設のレベルを高めることも必要。また、新卒者よりも社会人経験のある管理栄養士のUターンの方が、マッチングも上手くいくことから、新卒者による数値目標は意味がないとの発言があった。

7 その他

(1) 次回以降の審議会の開催日程について

事務局からその他資料1により説明がなされたうえで、新型コロナウイルス感染症が拡大した場合には、やむを得ず書面審議とすることや、今後は、県外から参加の委員はWeb上での参加とすることについて口頭で提案がなされた。

阿部理事長から、まずはこのような形で進めていくこととしたうえで、状況が悪化した場合は全員が遠隔で参加することもあり得るはないが、当法人のインフラが不十分であることを踏まえ、改めてお示ししたい旨の説明がなされた。

【配付資料】

- 報告資料1 新型コロナウイルス感染症に関する対応について
- 報告資料2 山形県立米沢栄養大学教員の公募について
- 報告資料3 山形県立米沢女子短期大学教員の公募について
- 協議資料1 山形県公立大学法人業務方法書の一部改正について
- 協議資料2 山形県立米沢栄養大学キャリア支援センター規程の一部改正について
山形県立米沢女子短期大学キャリア支援センター規程の一部改正について
- 協議資料3 山形県立米沢女子短期大学教員の任用（採用）について
- 協議資料4 山形県公立大学法人第3期中期目標（試案）について
- その他資料1 次回以降の審議会の開催日程について

議長 理事長(兼)学長

議事録署名人

議事録署名人

議事録署名人